

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2016年 第31週 (8/1-8/7) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

| 報告のあった定点数                                               |          | 31週 | 30週 | 29週 | 28週 |
|---------------------------------------------------------|----------|-----|-----|-----|-----|
| 上段:患者数<br>下段:定点当たりの患者数<br>「定点当たりの患者数」とは<br>報告患者数/報告定点数。 | 小児科      | 18  | 18  | 18  | 16  |
|                                                         | 眼科       | 5   | 5   | 5   | 4   |
|                                                         | インフルエンザ* | 28  | 28  | 28  | 26  |
|                                                         | 基幹定点     | 1   | 1   | 1   | 1   |

| 定 点  | 感 染 症 名                   | 千 葉 市 |         |           |           |           | 千葉県       |
|------|---------------------------|-------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|      |                           | 注意報   | 8/1-8/7 | 7/25-7/31 | 7/18-7/24 | 7/11-7/17 | 7/25-7/31 |
|      |                           |       | 31週     | 30週       | 29週       | 28週       | 30週       |
| 小児科  | RSウイルス感染症                 | ○     | 0.33    | 0.22      | 0.06      | 0.13      | 0.24      |
|      | 咽頭結膜熱                     |       | 0.17    | 0.33      | 0.06      | 0.44      | 0.37      |
|      | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎             |       | 2.06    | 2.06      | 2.44      | 3.31      | 3.16      |
|      | 感染性胃腸炎                    |       | 3.39    | 4.00      | 4.33      | 6.38      | 3.08      |
|      | 水痘                        |       | 0.17    | 0.28      | 0.39      | 0.88      | 0.36      |
|      | 手足口病                      |       | 2.83    | 3.72      | 1.89      | 1.38      | 2.47      |
|      | 伝染性紅斑                     |       | 0.28    | 0.50      | 0.33      | 0.31      | 0.27      |
|      | 突発性発しん                    |       | 0.67    | 0.72      | 0.94      | 0.81      | 0.50      |
|      | 百日咳                       |       | 0.00    | 0.00      | 0.00      | 0.06      | 0.01      |
|      | ヘルパンギーナ                   | ↓     | 4.44    | 5.56      | 4.28      | 4.50      | 5.59      |
|      | 流行性耳下腺炎                   |       | 0.44    | 1.22      | 0.33      | 0.50      | 1.04      |
| インフル | インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く) |       | 0.00    | 0.00      | 0.00      | 0.04      | 0.01      |
| 眼科   | 急性出血性結膜炎                  |       | 0.00    | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      |
|      | 流行性角結膜炎                   | ○     | 1.40    | 1.20      | 1.00      | 1.25      | 0.97      |
| 基幹定点 | 細菌性髄膜炎<br>(髄膜炎菌性髄膜炎を除く)   |       | 0.00    | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      |
|      | 無菌性髄膜炎                    |       | 0.00    | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.11      |
|      | マイコプラズマ肺炎                 |       | 0.00    | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 1.11      |
|      | クラミジア肺炎<br>(オウム病を除く)      |       | 0.00    | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      |
|      | 感染性胃腸炎<br>(ロタウイルスに限る)     |       | 0.00    | 0.00      | 0.00      | 0.00      | 0.00      |

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患(6件)

| 病名 | 性  | 年齢層  | 診断(検査)方法 | 病名                 | 性  | 年齢層  | 診断(検査)方法                    |
|----|----|------|----------|--------------------|----|------|-----------------------------|
| 結核 | 男性 | 10歳代 | ツベルクリン反応 | デング熱               | 男性 | 30歳代 | 非構造蛋白の検出                    |
| 結核 | 男性 | 40歳代 | IGRA検査等  | カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 | 女性 | 70歳代 | 当該細菌の検出、薬剤耐性の確認、起因菌であることの判定 |
| 結核 | 女性 | 10歳代 | ツベルクリン反応 |                    |    |      |                             |
| 結核 | 女性 | 50歳代 | IGRA検査等  |                    |    |      |                             |

・第31週は、結核4件(157)、デング熱1件(3)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(4)の報告があった。

※ ()内は2016年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

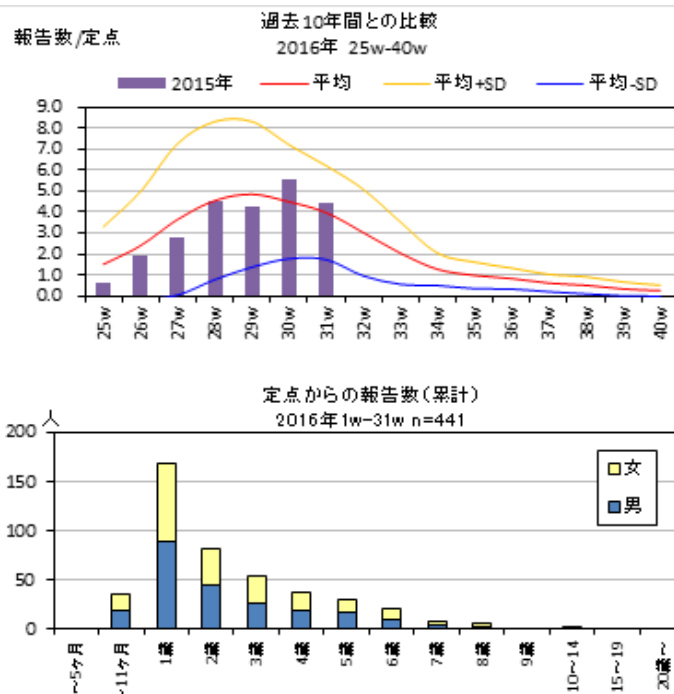
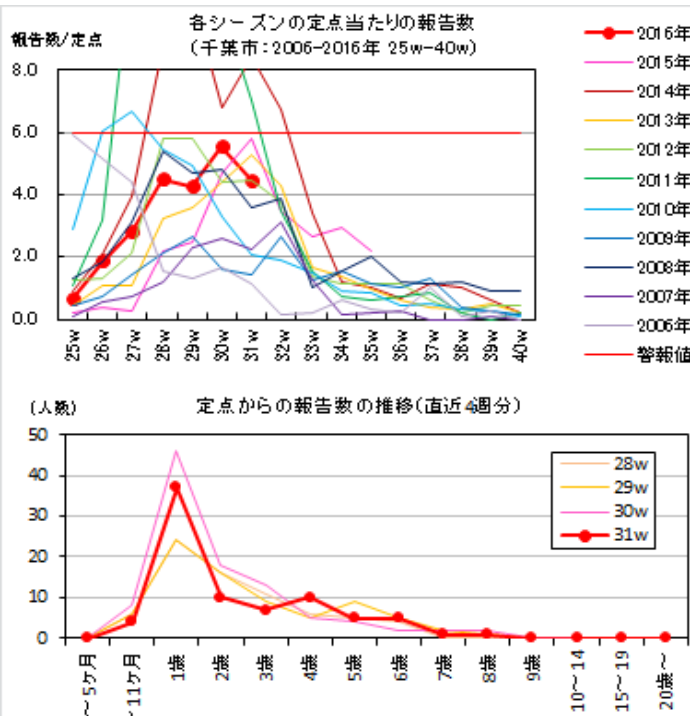
## 定点当たり報告数 第31週のコメント

＜RSウイルス感染症＞前週から増加し0.33となった。過去10年の同時期と比べると多い。  
 ＜ヘルパンギーナ＞前週から減少し4.44となった。過去10年の同時期と比べるとやや多め。  
 ＜流行性角結膜炎＞前週から増加し1.40となった。過去10年の同時期と比べると最多。

## トピック

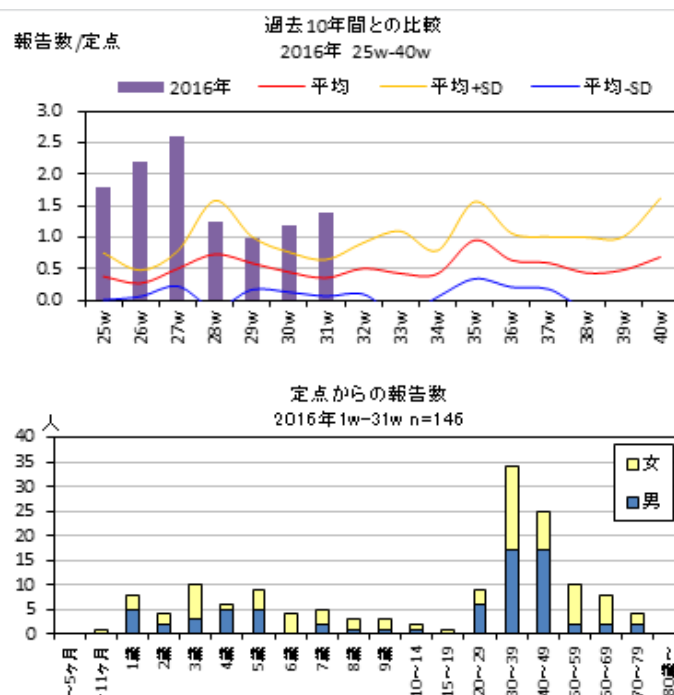
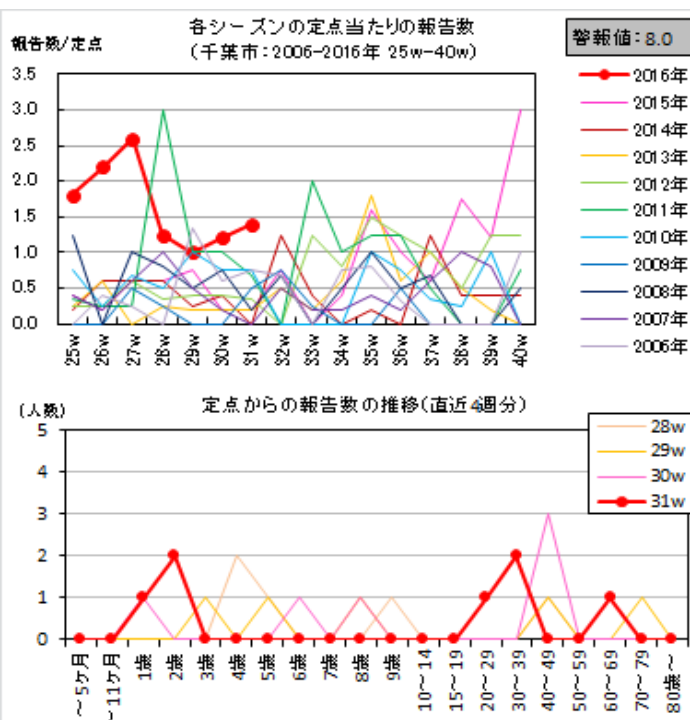
### <ヘルパンギーナ>

全国レベルの第30週は過去9年の同時期と比べるとほぼ平均レベルとなっています。都道府県別では、新潟県、埼玉県、栃木県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより多くなっています。千葉市の第31週は前週より減少し4.44となりました。過去10年の同時期と比べるとやや多めとなっています。区別の発生状況は、若葉区(9.00/定点)で流行発生警報開始基準値(6.0/定点)を上回り最多となっている他、緑区(7.25/定点)でも流行発生警報開始基準値を上回っています。いずれの区も1歳で最も多く発生報告がありました。2016年第1週から第31週までの累積報告数(n=441)によると、性別では男性が53.1%(234名)、女性が46.9%(207名)で、年齢階級別では1歳(38.3%:169名)、2歳(18.6%:82名)、3歳(12.2%:54名)の順に多くなっています。



### <流行性角結膜炎>

全国レベルの第30週は過去9年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では、鹿児島県、神奈川県、愛媛県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べるとやや多めとなっています。千葉市の第31週は前週より増加し1.40となり、過去10年の同時期と比べると最多となっています。区別の発生状況は若葉区(4.0/定点)で最多で、同区の30歳代で最も多く発生報告がありました。2016年第1週から第31週までの累積報告数(n=146)によると、性別では男性が48.6%(71名)、女性が51.4%(75名)で、年齢階級別では30歳代(23.3%:34名)、40歳代(17.1%:25名)、3歳及び50歳代(共に6.8%:10名)の順に多くなっています。



## <RSウイルス感染症>

全国レベルの第30週は過去9年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では、福岡県、鹿児島県、沖縄県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルとほぼ同等となっています。千葉市の第31週は前週より増加し0.33となり、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、緑区(1.27/定点)で最多で同区の1歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2015年第36週から2016年第31週までの累積報告数(n=232)によると、性別では男性が51.7%(120名)、女性が48.3%(112名)で、年齢階級別では1歳(28.0%:65名)、6~11か月(24.6%:57名)、2歳(19.8%:46名)の順に多くなっています。

